

第 2 号

2019年12月1日 発行

編集発行

日本看護研究学会

(事務局)

〒170-0002 東京都豊島区巣鴨1-24-1-4F 株式会社ガリレオ 学会業務情報化センター内 一般社団法人 日本看護研究学会 事務局

TEL: 03-3944-8236 (直通)

FAX: 03-5981-9852

〔主な記事〕

理事長より / お知らせ / 学術集会情報 / 会員総会報告 / 編集後記

理事長より「学会活動の一層の充実にむけて」。



一般社団法人 日本看護研究学会 理事長 宮 腰 由紀子

令和元年の新天皇陛下ならびに皇后陛下の御即位礼 正殿の儀が恙無く執り行われました。改めてお慶び申 し上げます。

今年の秋9~10月には度重なる大型台風襲来により 未曾有の大規模災害が発生しました。お亡くなりにな られた皆様の御冥福をお祈り申し上げますとともに、 被災された皆様の一刻も早いご回復と、被災地の復興 をお祈り申し上げます。

さて、令和元年8月に45回目の学術集会が開催されました。泊祐子学術集会長のもと、赤澤千春事務局長をはじめ企画・運営・実行各委員の皆様のご尽力とご後援くださいました近畿各県看護協会そしてご協賛くださいました諸団体ならびに各企業のお力添えにより、素晴らしい企画と運営がなされ、会員の皆様をはじめご参加くださいました多くの皆様が有意義な時間を過ごすことができたことに、感謝申し上げます。

講演やシンポジウムをはじめ、日頃の活動や研究の成果報告の各会場で、活発に意見が交わされる様子を 拝見しながら、討議を深めるためにもっと時間が欲し い、という思いを抱かれた方も多くいらしたのではな いかと推察いたしております。皆様も学術集会で実際に顔を合わせての討議がその研究や活動を新たな段階へ導いてくれる機会でもあることを実感されていらっしゃると存じます。学術集会は、本学会の重要な事業ですので、皆様からの沢山の研究や活動の支援となるような沢山の情報発信の場としても、今後の一層の充実をはかる努力は欠かせません。そのためにも、各学術集会長の運営への支援をしっかりと行うとともに、会員の皆様からの温かいご協力を今後も賜りますよう、宜しく御願い申し上げます。

こうした状況を受けて、今後は、毎年の学術集会活動と地方会活動への支援について、また、会員の皆様が研究と活動に活用できる情報発信などについて、効果的で有益な方法を検討していく必要があります。なお、少し先ではありますが、来る50回目の記念すべき学術集会にむけた企画を今から準備していく必要もあります。各々、ワーキンググループの開設等により進めてまいりたいと考えております。重ねての皆様のご支援を宜しくお願い申し上げます。

お知らせ

■編集委員会より -

投稿前に研究倫理にそっているか確認したいと数件問い合わせがありました。日本学術振興会のホームページの「科学の 健全な発展のために―誠実な科学者の心得―」https://www.jsps.go.jp/j-kousei/data/rinri.pdf、研究倫理eラーニングコース(eL CoRE)https://elcore.jsps.go.jp/top.aspx、等をご確認の上ご投稿ください。日本看護研究学会誌への投稿を期待しております。

■大規模災害支援事業委員会より -

本委員会は、大規模災害で被災された看護学生や看護学研究者への支援のための助成を目的として活動しています。今年 度前半は2018年度被災者の助成を継続して行いました。

後半期は大きな災害が起こらないようにと願っていた矢先、「九州北部大雨」や広範な地域を巻き込んだ「台風15号」「台風19号」「台風21号」による甚大な被害が発生してしまいました。被災された方々には、心よりお見舞い申し上げます。

現在、本委員会では、これらを対象とした支援事業対象者の募集を開始いたしましたが、今後も継続して行っていく予定です。 会員の皆様には、周りの方々へ本事業に関わる情報提供をしていただき、是非とも対象となる看護学生のご推薦をお願い したいと思います。あわせて、ご寄付へのご協力をよろしくお願いいたします。(詳細については、HPをご覧いただきた いと思います。http://www.jsnr.or.jp./outline/disaster-relief/)

■東海地方会より ―

東海地方会では、第24回学術集会および2020年度セミナーを開催いたします。皆様のご参加をお待ちしております。 【第24回東海地方会学術集会】

学術集会長: 蒔田寛子(豊橋創造大学保健医療学部看護学科教授)

期 日:2020年3月20日(祝・金)

場 所:豊橋商工会議所 愛知県豊橋市花田町字石塚42-1

テーマ:「共に創造する看護の知―地域を護り育む看護の力―」

【2020年度 東海地方会セミナーのご案内】

日 時:2020年5月24日(日)9:00~12:00

場 所:四日市看護医療大学 人 数:40名程度(先着順)

テーローマ:私の看護と出会う 一日常の看護実践を倫理的観点から紐解く―

講師:平山惠美子(藍野大学医療保健学部看護学科教授)

プランナー:柿原加代子(四日市看護医療大学教授) ※詳細については、ホームページをご参照ください。

(社) 日本看護研究学会東海地方会 https://www.jsnr.or.jp/district/tokai/

東海地方会 会長 白尾久美子

■近畿・北陸地方会より ――

近畿・北陸地方会では、継続セミナーを年 2 回(近畿地区と北陸地区)で開催しております。令和元年は、第29回継続セミナーを10月12日(土)福井医療大学で開催する予定でしたが、台風19号の影響で中止とし、延期して、12月 8 日(日)13:30~17:00に同大学で開催することとしました。また、第30回看護研究継続セミナーは、11月23日(祝)13:30~17:00に滋賀医科大学医学部看護学科棟 1 階看護第 4 講義室で開催しました。

第33回近畿・北陸地方会学術集会を2020年3月21日(土)に聖泉大学(滋賀県彦根市)で開催します。テーマは『健康寿命UPを目指す看護研究と看護実践』です。シンポジウムでは「滋賀県における健康寿命UPを目指す地域での取り組み」を予定しています。それぞれの地域での健康向上に向けた看護の取り組みについての情報交換を行い、次の日からの実践・教育・研究の"元氣"と"知"の糧になるような地方会学術集会を目指しています。

皆様のご参加をお待ちしております。

学術集会ポスター https://www.jsnr.or.jp/district/kinki-hokuriku/meeting/files/m33_poster.pdf

■九州・沖縄地方会より -

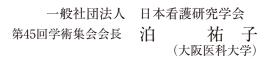
九州・沖縄地方会の会員数は846名(2019年7月末現在)、参加者160~200名ではありますが、学会会員の努力と地域の 方々の協力のもと「学術集会」を毎年開催しています。

本年度は、「事例報告から事例研究へ~看護実践知の創造へ向けて~」をメインテーマに、大分の地において11月9日に 開催されました(学術集会長:大分大学医学部看護学科 原田千鶴 教授)。

九州·沖縄地方会 会長 楠葉 洋子

学術集会情報

第45回学術集会報告





一般社団法人日本看護研究学会第45回学術集会を2019年8月20日(火)~21日(水)の2日間にわたり、大阪国際会議場にて開催させていただきました。全国から1,600人を超える皆様にご参加をいただき活気に満ちた2日間を無事終了することができました。

第45回学術集会のメインテーマを検討するにあたり、本学会発足の経緯を見直しました。発足当時、看護系大学数は一桁でした。約半世紀を過ぎ、看護職の専門性の強化や役割拡大が求められ、大学院教育も発展し、すでに専門看護師(CNS)養成も20年を過ぎています。その間、確かな実践知や多くの研究成果が積み重ねられてきましたが、それらの看護実践や研究成果がどのように社会に評価されるのか、社会への貢献を可視化したいと思い、メインテー

マを『研究成果をためる、つかう、ひろげる―社会に評価 される看護力―』として、プログラムを企画しました。

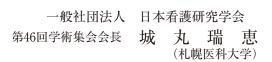
学術集会の趣旨をご理解いただきました演者の方々の講演、会員の皆様のご発表、ご参加をいただきました皆様とのそれぞれの場面での討論は学術集会の目的を十分に深める有意義な時間となりました。これらの講演は本学会誌第43巻1号に掲載されますので、是非ご一読ください。

学術集会を企画・開催する素晴らしい機会をいただきました一般社団法人日本看護研究学会宮腰由紀子理事長をはじめ、理事・会員、ご協賛いただきました企業の皆様、企画・実行委員など様々な形でご支援いただきました皆様に心から感謝申し上げます。





第46回学術集会のご案内





メインテーマ: 当事者とともに創る看護の知

会 期:2020年8月27日(木)・28日(金) 会 場:札幌コンベンションセンター

第46回大会のテーマは「当事者とともに創る看護の知」です。当事者である患者・家族の声に耳を傾け、ともに考え行動することで創られる看護の知の現状と展望について、皆様と考え共有したいと思い学術集会のテーマにしました。

特別講演には日本学術会議副会長 三成美保氏から「教育研究におけるジェンダー主流化と日本学術会議の取り組み―日本看護研究学会のさらなる発展を期して―」と題して看護研究者・本学会に対する展望についてご講演をいただきます。教育講演1では北海道医療大学教授向谷地生良氏から「当事者の専門知に学ぶ」をテーマにご講演をいただきます。この講演を通して当事者から学ぶ必要性・重要性について理解を深める機会になると考えています。教育講2では北海道大学教授湯浅万紀子氏に「思い出を未来へと紡ぐ博物館―博物館体験の長期記憶の語りから探

る博物館の意味―」をテーマに、「博物館」をキーワード にした研究内容についてご紹介いただき、看護の知を創造 する上での多くの示唆をいただけると思います。

シンポジウムではがんや若年性認知症とともに生きる当事者・ご家族の方をシンポジストにお招きして、当事者・ご家族の方々と看護の知をどのように創るのか、意見交換が行われる予定です。この他、"看護の知を創る"ための研究方法に関するセミナー、また一般の方々が参加して楽しんでいただける市民公開講座を企画しております。

会員の皆様には、日ごろの研究成果の発表の場にしていただければ幸いです。また、看護について考え発展させるための機会になることを願っております。皆様のご参加を心よりお待ちしております。

学術集会ホームページ https://www.jsnr46-2020.org

2019年度一般社団法人日本看護研究学会会員総会報告

2019年度一般社団法人日本看護研究学会会員総会は、第45回学術集会(大阪)開催初日の2019年8月20日(火)、大阪国際会議場にて行われました。宮腰由紀子理事長の挨拶の後、会員数の動向、2018年度事業報告・決算報告、2019年度事業計画・予算報告が行われました。次いで、2019年度奨学会研究助成、2018年度学会賞・奨励賞選考が報告されました。そして、中木高夫氏(元編集委員会委員長および第40回学術集会会長)が新たに名誉会員となることが承認されました。また、2020年以降の学術集会会長は

第48回 (2022年) が中西純子氏 (愛媛県立医療技術大学)、 第49回 (2023年) が叶谷由佳氏 (横浜市立大学) に、それ ぞれ決定しました。

会員総会終了後に、次年度(2020年度)第46回の城丸瑞恵学術集会会長(札幌医科大学)より、挨拶が行われました。引き続いて、中木高夫氏に名誉会員の証が授与され、2019年度奨学会奨学金授与式(1名)と、2018年度学会賞(1名)、奨励賞(5名)の授賞式が、それぞれとり行われました。

— 編集後記 —

2019年7月1日発行のニュースレター第1号に引き続き、会員の皆様に第2号をお届けいたします。宮腰理事長の巻頭言にもありますように、令和元年の御即位礼正殿の儀が行われ、さらには10月に入って経験したことのない巨大台風が列島を襲い、昨年に引き続き私たちは未曾有の大規模災害を経験しました。こうしたカタストロフィーに直面するたびに、看護界の役割が拡大し、その専門性がますます強化されていく必然性を実感します。令和の、新しい日本の看護学研究の発展に本学会も貢献を続けるべく、第2号にも、日本看護研究学会が学術団体として社会に示す姿勢を凝縮しました。会員の皆様にはぜひ全ページに目を通していただきたく思います。(総務担当 鈴木)